

初日は 9 時、桑名駅前を貸切バスで出発し、石徹白へ。白山中居神社境内を流れる宮川では、許可をいただき水生生物を採取観察しました。協賛の長良川フォーラムのスタッフ、学生スタッフから、カワゲラやカジカなどの特徴、特性の説明があり理解を深めました。夜間は、石徹白農村センターに移動し、石徹白に伝わる民話「泰澄大師、白山への道」「浄安杉」「根後の二又朴葉」の紙芝居を地元の NPO 法人の方々から語っていただきました。帰りの民宿民泊への夜道は、真っ暗なので肝試しの様相でした。

2 日目は、分宿した 4 つの班別に、白山中居神社までクイズを交えたオリエンテーリングをしました。何班かは、指定時間の 10 時 30 分までにたどり着けず、救護車で回収となりました。その後、白山中居神社前に集合、舗装された山道ですが途中、豪雨による土砂崩れの光景を目の当たりしながら、国の天然記念物で名高い石徹白の大杉までのトレッキングです。キャンプ中は、テレビは厳禁、ケータイ、SNS も白山中居神社から山あい通信圏外で子どもたちには、良き体験の機会でした。

3 日目最終日には、子どもたちが、各民宿民泊のオーナー、女将さん宛にお礼の手紙を書いて、手渡しました。トウモロコシ収穫の予定でしたが、夜来の雨で畑がぬかるみ状態で中止。予め収穫しておいたトウモロコシを子どもたちが手にして、前川キャンプ場へ徒歩移動しました。地元の人たちがビニールシートでテントを特設してくださり、トウモロコシを大きな鍋で茹でている間に、イワナの掴み取りを体験しました。お昼ご飯は、各民宿民泊の方々が用意してくださった、おにぎりトウモロコシ、イワナ串焼きで自然の味覚を満喫しました。

石徹白でのキャンプに、お別れのときがきました。結団の際、オリエンテーションで柴田会長から①ルールを守ること、②喧嘩をしないこと、③お友達を一杯つくること、の 3 つの約束を守ることができました。3 日間でほぼ予定通りの日程を消化し、14 時、福祉センターの前からバスに分乗して帰路につきました。お世話になった民宿民泊の皆さん、地元の人たちが手を振って見送りをしてくれました。子どもたちも一生の思い出の 1 ページになることでしょう。